



南会津高校進路だより

羅針盤 (12月増刊号)

第95号

2018年12月17日

進路指導部・発行

3学年進路決定状況～公務員<自衛隊>1名合格!

現時点で3年生50名中37名の進路先が決定。就職公務員では、待望の合格者が「陸上自衛隊自衛官候補生」に男子1名。この勢い・流れが今後の受験生の合格にもつながれば、と願う。受験生全員の朗報に期待しましょう。

3年生進路決定状況

(12月17日現在)

進路先	四年制大学		短期大学		専門学校		就職		合計	在籍
	国公立	私立	公立	私立	看護系	一般	法人	公務員		
人数	3	10	1	0	7	13	2	1	37	50

進路希望調査・学習時間調査データ (12月) より

進路希望調査

(12月17日現在)

	四大	短大	専門学校	就職	公務員	未定	計
2年	19	3	13	12	2	1	50
1年	11	2	13	9	4	10	49

特徴・傾向①～1・2年生の就職希望者増! 1年生の大学進学希望者減!

1・2年生の就職希望者が例年に比べかなり増加していることが、大きな特徴・傾向である。一方で1年生の四大希望者は11名と少ないのが気になるが、2年生も1年次は少なかったものの、2年生では19名と増えているため、1年生も同じように強い上昇志向と向学心で大学への進学意識が芽生えることを期待したい。1年の進路未定10名は、焦ることはないものの早く目標を絞った方が進路実現の可能性は断然高まることを意識・自覚しておきたい。

特徴・傾向②～大学進学希望者の英検・漢検等の2級合格者が減少!

今年度は、英語検定での2級合格者が減少傾向にある。特に、大学進学希望者は、自分の学力向上のためにも、資格取得で受験を有利に展開するためにも、2級合格は進路実現の可能性を大きく広げてくれるため、ぜひとも、英検等の資格試験に積極的にチャレンジすべきである。



冬休みでも、1・2年生は全員参加の冬季課外5日間! 遅刻・欠席なしで意欲的に参加しよう!

日程～12月19日(水)・20日(木)・21日(金)・25日(火)・26日(水)の5日間

	家庭学習時間調査～昨年度の学年との比較（学年平均～単位・分）	
2年	平日～ 73.7分→48.1分	休日～96.8分→72.4分
1年	平日～ 55.3分→40.2分	休日～90.5分→60.8分

特徴・傾向①～危機感が募る数字！1・2年生とも家庭学習時間が大幅に減少！

1・2年生とも、昨年に比べ、家庭学習時間が大幅に減少した。これほどの大きな落ち込みは初めてであり、本校にとってショックな現実、危機的状況と言える。このままなら、基礎学力は定着せず、就職も進学も第一目標の突破は困難となる。意識の変革と実行力が急務となる。

★家庭学習時間の最低限の目安～1年生は1時間！2年生は2時間！

大学受験であれば、「学年プラス1時間」・・・1年生2時間、2年生3時間、と言いたいところだが、せめて1年生は1時間、2年生は2時間、家庭学習時間を確保してほしい。これまで家庭学習の習慣がほとんどなかった1・2年生が増えているのも本校の実情ではあるが、高校から先へ進む場合には、学校の授業はもちろん、家庭でもしっかり勉強しないと競争相手には勝てない。高校からは進学であれ就職であれ、勝負する競争相手は全国の受験生であり、進路希望先ごとのレベル・学力が必要となる。さあ、気持ちを入れ替えて家庭学習と読書の習慣を確立しよう！

会津大学推薦入試の傾向と対策～最新情報

今年も、平成31年度会津大学推薦入試における「合格者の成績」が会津大学から送られてきた。1・2年生の会津大志望者の励み・参考としてぜひ紹介したい。



この表を見ると、本年度の合格者の平均点は、昨年度の約70点に比べ、数学が67.5点、英語が64.5点と、問題がかなり難化したことがわかる。しかし、年によって合格平均点の差はやや出るものの、会津大推薦入試では、数学・英語で7割を目標にすることが合格の目安となる。会津大学の推薦入試の問題は、英数ともに極端な奇問・難問がなく、オーソドックスな問題形式となっている。教科書レベルの基礎学力・応用力をしっかり身につけた実力があれば、けっして解けない問題ではないし、7割以上も十分可能だ。一般に推薦入試は、面接・小論文での試験官の主観的？客観的？評価にゆだねられるため、採点基準・合格ラインは不確実で合否は極めて水物である。だが、会津大の推薦入試だけは、数学・英語で約7割の点数を取れば合格可能、という明白な合格条件があるだけに極めて見通しの立つ受験しやすい推薦入試と言えよう。よって、早めに確実に準備を進めれば君たちの潜在能力であれば、合格の可能性は十分ある。1・2年生の会津大希望者は、今から会津大合格に向けて英語・数学を本気で計画的に取り組んでほしい。次年度以降、1・2年生から多数の合格者が出ることを心待ちにしたい。